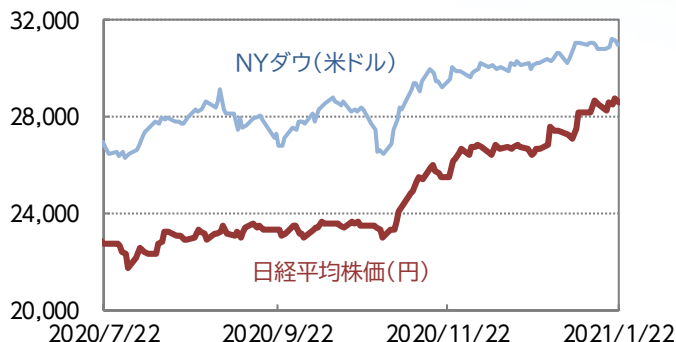


■先週の市場の動き

米国株式が反発。連休明け19日は、次期財務長官に指名されたイエレン前FRB(米連邦準備理事会)議長が法人税増税を急がない姿勢を示したことが好感された。週央以降はハイテク株が大幅上昇。先行きの好決算発表を期待した買いが加速。一方、足元で上昇が続いた景気敏感株への利益確定売りが続いた。

■株式市場



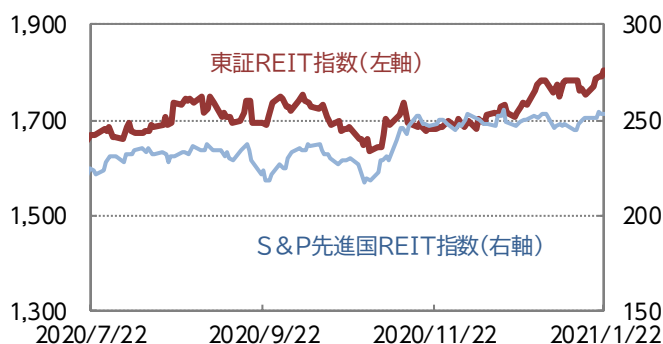
国内株式は4週連続で上昇。21日の日経平均は30年5カ月ぶりの高値となる2.87万円台を回復。米ハイテク株の決算への期待から国内のハイテク株も買われた。

■債券市場



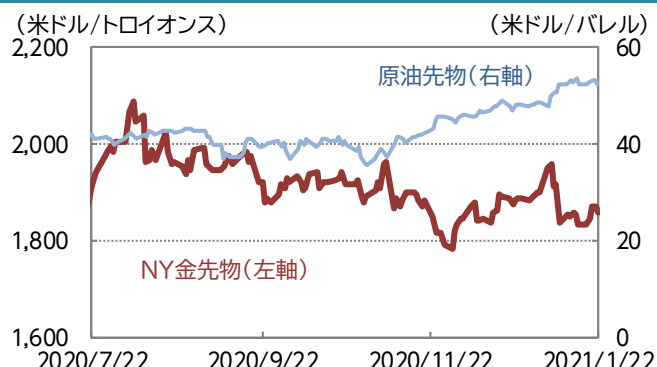
米国10年国債利回りは週間で横ばい圏内。日本10年国債利回りは「日銀が3月会合で長期金利の変動幅を広げる可能性がある」との一部報道から一時+0.05%に上昇した。

■REIT市場



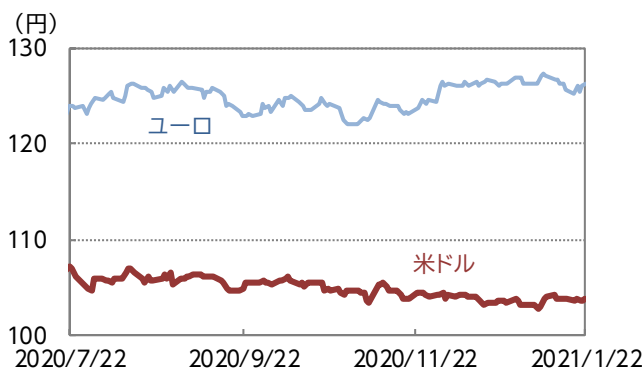
国内は反発。節目の1,800ポイントを突破。コロナ・ショック前の高値を回復。海外は続伸。

■コモディティ市場

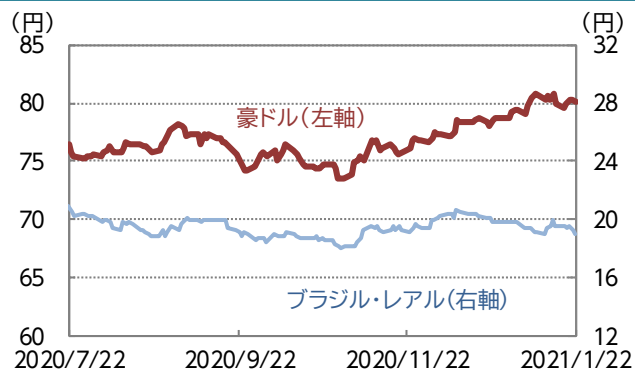


原油は4週ぶりの下落。バイデン政権の政策期待で買いが先行したが、原油在庫増加が懸念された。金は上昇。自律反発の動きに加え、米ドル安傾向が買い材料となった。

■為替市場



米ドル/円は小幅続落。方向感の出づらいつ展開が続いた。ユーロは反発。ドイツの1月の景況感指標が市場予想ほど悪化しなかったことが好感された。



豪ドル/円は小幅反発。ブラジル・リアル/円は急反落。昨年11月以来の19円割れ。

※原油先物はニューヨーク・マーカンタイル取引所 WTI先物価格 (信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

■主要指標の動き

	先週末	騰落率			
	1/22	1週間	1カ月	3カ月	
日経平均株価	28,631.45	0.39%	8.30%	21.97%	
TOPIX	1,856.64	0.00%	5.42%	14.62%	
JPX日経インデックス400	16,866.20	0.05%	5.92%	15.75%	
米国 NYダウ	30,996.98	0.59%	3.27%	9.28%	
米国 S&P500指数(米ドルベース)	3,841.47	1.94%	4.18%	11.23%	
米国 S&P500指数(円ベース、配当込み)	4,192.69	1.88%	4.39%	10.62%	
米国 ナスダック総合指数	13,543.06	4.19%	5.74%	17.70%	
英国 FTSE100	6,695.07	▲0.60%	3.75%	15.72%	
ドイツ DAX	13,873.97	0.63%	3.40%	10.61%	
香港 ハンセン指数	29,447.85	3.06%	12.74%	18.81%	
中国 上海総合	3,606.75	1.13%	7.45%	8.88%	
インド S&P BSEセンセックス指数	48,878.54	▲0.32%	6.24%	20.51%	
ブラジル ボベスパ	117,380.50	▲2.47%	0.64%	15.17%	
債券関連					
日本10年国債利回り	0.035%	0.005	0.025	0.005	
米国10年国債利回り	1.086%	0.002	0.169	0.229	
ドイツ10年国債利回り	▲0.512%	0.031	0.083	0.054	
米国ハイイールド債券	464.60	0.01%	0.90%	4.38%	
その他					
東証REIT指数	1,804.37	2.88%	5.19%	7.42%	
S&P先進国REIT指数	253.42	0.71%	1.95%	10.40%	
S&P香港REIT指数	380.74	▲0.90%	0.92%	11.90%	
S&PシンガポールREIT指数	362.18	▲0.30%	4.42%	8.52%	
ブルームバーグ商品指数	79.11	▲1.67%	3.34%	7.14%	
NY金先物	1,859.90	1.43%	▲0.78%	▲3.02%	
アレリアンMLPインデックス	880.48	▲5.90%	6.00%	27.06%	

	先週末	変化率			
	1/22	1週間	1カ月	3カ月	
米ドル	103.78	▲0.07%	0.14%	▲1.03%	
ユーロ	126.33	0.61%	0.21%	1.93%	
英ポンド	142.01	0.65%	2.55%	3.51%	
豪ドル	80.05	0.05%	2.70%	7.26%	
カナダ・ドル	81.52	▲0.02%	1.53%	2.12%	
ノルウェー・クローネ	12.21	0.77%	3.04%	7.73%	
ブラジル・リアル	18.97	▲3.35%	▲5.54%	1.14%	
香港ドル	13.39	▲0.03%	0.14%	▲1.06%	
シンガポール・ドル	78.09	0.01%	0.66%	1.04%	
中国・人民元	16.01	▲0.03%	1.11%	2.08%	
インド・ルピー	1.42	▲0.01%	1.34%	▲0.31%	
インドネシア・ルピア	0.74	▲0.22%	1.55%	3.50%	
トルコ・リラ	13.99	0.72%	3.39%	5.95%	
南アフリカ・ランド	6.85	0.40%	▲3.01%	5.83%	
メキシコ・ペソ	5.19	▲0.94%	0.93%	3.87%	

為替レート(対円)

※先週末休場の市場は直近値
 ※国債の騰落率は利回りの変化幅
 ※米国ハイイールド債券はICE BofAメリルリンチ・US・ハイイールド・BB-B・インデックス
 ※東証REIT指数は配当なし
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし
 ※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格
 ※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

■主要経済指標

<国内>

貿易統計(12月)	全体の輸出は前年同月比+2.0%。対中国の輸出は+10.2%。通年は3年ぶりの黒字。
全国消費者物価指数(12月)	生鮮食品を除く総合指数は前年同月比▲1.0%。下落は5カ月連続。通年は前年比▲0.2%。

<米国>

住宅着工件数(12月)	年率換算166.9戸の前月比+5.8%。2006年9月以来の高水準。通年は+7.0%。
中古住宅販売件数(12月)	年率換算676万戸の前月比+0.7%。2カ月ぶりのプラス。前年同月比は+22.2%。

<欧州>

ユーロ圏総合PMI(1月)	前月から▲1.6ポイントの47.5。サービス部門は▲1.4ポイントの45.0、製造業も低下。
---------------	--

*PMI: 購買担当者指数

<中国>

鉱工業生産指数(12月)	前年同月比+7.3%。2019年3月以来の高い伸び率。パソコン需要などが増加。
小売売上高(12月)	前年同月比+4.6%。通年では▲3.9%、1968年以来のマイナス。
実質GDP成長率(2020年10-12月期)	前年同期比+6.5%。前期から伸び率は拡大。通年は前年比+2.3%。1976年以来的の低水準。

*GDP: 国内総生産

■今後の焦点

【国内】

日付	イベント
1/29	完全失業率(12月)
1/29	鉱工業生産指数(12月)
1/29	消費者態度指数(1月)
2/5	家計調査(12月)

【海外】

日付	イベント
1/26	IMF(国際通貨基金)世界経済見通しの発表
1/27	FOMC(米連邦公開市場委員会)結果発表
1/27	10-12月期決算発表(アップル、フェイスブック、テスラ)
1/28	米新築住宅販売件数(12月)
1/28	米実質GDP成長率(2020年10-12月期、速報値)
1/31	中国製造業PMI(1月、政府発表分)
2/1	ISM(米供給管理協会)製造業景況指数(1月)
2/2	ユーロ圏実質GDP成長率(2020年10-12月期、速報値)
2/5	米貿易収支(12月)
2/5	米雇用統計(1月)

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【投資に関する留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%
2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%
3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



三井住友トラスト・アセットマネジメント

商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。